

## 文化奨励賞

### ファミリーコーラス ほほえみ



昭和57年秋「吉備町にもコーラス部を」と、池永義子氏に指導の依頼がありコーラス部は結成された。

昭和58年1月19日木曜日の夜7時にきび会館に集まったのは30人余り。好きな曲を楽しく歌おうという呼びかけであったが、参加した方々は合唱をしたいという希望が強く、2回目からは二部合唱に取り組んだ。以来、毎週木曜日夜8時から10時まで、きび会館での活動が続けられてきた。

初演は発足2ヶ月後、岩崎富美枝ピアノ教室発表会での賛助出演。岩崎氏のピアノは今も御霊公民館にて活躍中である。

独自コンサートは20周年を皮切りに、25年・30年・32年…ときびドームで開催。また、五西月地区のファミリーコンサートを18年間開催し、地域の方々にも親しまれてきた。幅広く交流するために、箕島高等学校合唱部との合同発表会、介護施設への慰問コンサートも定期的に行っている。池永氏作詞作曲の作品「母なる有田川」や「コスモスは風」、オペレッタ「蹴割りの阿弥陀」等も発表し、好評を博した。

きび会館閉鎖にあたり「さようならコンサート」を催し、練習会場は御霊公民館へと移った。舞台付きの畳の部屋は、新たな笑顔咲く楽しい歌声タイムの場となっている。結成から続くティータイムも笑顔弾む大切な絆タイムである。

コロナウイルス感染予防のため、3年間定期コンサートは中止にしていたが、この11月3日は濱口梧陵翁の偉業を描いた朗読と歌による生涯劇「梧陵さん」を上演した。来年こそは40周年のほほえみコンサートを開催して皆様に楽しんでいただきたいと意欲的に取り組んでいる。

これらの活動は当町文化振興に大きく貢献しており、今後より一層の活躍が期待される。

## 文化奨励賞

### 鳥屋城公民館茶道教室



昭和38年青年学級開講。

昭和43年婦人学級開講。

旧金屋庁舎前の鳥屋城公民館にて、開講当初の講師は片小夜氏が35年間務められた。その後平成5年9月より榎本和子氏が講師を引き継ぎ、平成25年10月の文化協会文化祭まで20年間指導。その後を中孝子氏が引き継ぎ、長年にわたり多くの方々に茶道の普及と指導を行っている。

節目の年には記念茶会を催している。毎年秋の文化協会文化祭にはお点前の発表。初釜では、訪れた方々に一服提供し、それぞれ好評を得ている。

平成14年に学校が土曜日休みになったことで始まった鳥屋城公民館土曜教室では、茶道教室を毎年数回開催する。平成27年からは文化庁伝統文化親子教室事業を行い小学生に茶道の指導。その他初釜、中学校文化祭、月を愛でる会、アジサイ祭りなど多様な場所で活動を行っている。平成30年和歌山県内の茶道愛好家が所属する「あさも会」のお茶会開催。

また、和歌山市東部コミュニティーセンターなどの他茶道部との研修交流会や県内外の研修バスツアーを実施し、切磋琢磨している。

公民館の教室として、地域住民への茶道の普及活動を60年以上行っていることは、当町文化振興に大きく貢献しており、今後より一層の活躍が期待される。